

基調講演 「地方分権改革のゆくえと行財政の自立と規律」

1. 地域での動き

- ・首長と議会の対立の激化(二元代表制の根幹)
- ・代議制の再評価

2. 地方分権(地域主権)改革の方向

- ・直接民主制的要素の強化(住民投票条例 等)
- ・住民自治の強化(コミュニティーの重視)
- ・「地方自治は民主主義の学校である」

3. 地方財政健全化への試行錯誤

- ・財政健全化計画の策定の義務付け(H20年度決算より適用)
- ・地方の大幅な財源不足とその補てん
- ・地方債、地方交付税制度の改革
- ・財政破綻時の適用ルールの検討

4. 社会資本整備の状況

- ・投資的経費の急激かつ大幅な削減
- ・既存ストックの維持・管理の限界、更新投資の平準化
- ・補助金の一括交付金化
 - 将来的には、税源移譲(地方消費税中心)または地方交付税に吸収

5. 良質なまちづくりに向けて

- ・グリーン化、コンパクト化
- ・大胆な機能分担と広域連携による戦略的投資
- ・良質な資金の確保

以上